

紫波町議会定例会代表質問通告書（写）

令和8年定例会3月会議

質問議員	質問の内容	答弁を 求める者
<p>[1] 新政会 細川 久</p>	<p><b>○所信表明における町政方針について</b> 先月2月8日町長に就任され、前町長から引き継いだ事業はどのようなものか。町長として令和8年度に新規に取り組む事業があるのか。また、町長は「共に創る、希望のまち紫波」を掲げているが、具体的にどのように実現されるのか。特にどの分野に重点を置いて町政運営を進めるのか伺う。</p>	町長
	<p><b>○事業の見直しと自主財源の確保について</b> 令和7年度をもって紫波町保健推進員を廃止すると聞くが、7年度に事業の見直しをして廃止、縮小、継続する事業があるのか。ある場合どのように評価し見直しをしたのか伺う。 7年産米の概算金が上がったことにより、所得税の増が予想される。これに伴い、町民税や国保税の増収が見込まれるのか。ふるさと納税10億円の目標達成に向けての推進策と自主財源確保のための取り組みを伺う。</p>	町長
	<p><b>○給食費の無償化について</b> 国の動きとして、公立小学校の給食の無償化が令和8年4月から実施されることが決まっている。 一方で、令和8年度学校給食費は、物価高騰が続き維持するのが困難な状況から改定が予定されている。小学校は国からの交付金が見込まれ、不足分を町が補填し無償化する。中学校は現行を維持し、引き上げ相当額は町が補填する方針である。今後の給食費予算の見通しと給食の質を十分に保障できるのか伺う。</p>	教育長
	<p><b>○中学校部活動の地域移行について</b> 紫波町中学校部活動「休日の地域展開」に関する基本方針(案)が示されたが、教職員が平日、休日に、部活動に関わっている実態を掴んでいるのか。また、休日の地域展開で教職員の働き方改革の一助になるのか。 さらに、既に学校外のスポーツ、文化活動に参加している児童生徒の場合、休日は、地域展開のクラブに入ることになるのか。地域クラブに小中ともに約3割が「参加したい」意向とあるが、モデル展開を具体的に図ることが可能なのか伺う。</p>	教育長

質問議員	質問の内容	答弁を 求める者
<p>[2] しわ共生 の会 根水 康博</p>	<p>○コミュニティ・福祉について</p> <p>町長は所信表明で、一人ひとりの暮らしに寄り添ったまちづくりを進めていくために、地域住民の力による「地域力」が不可欠であるとしているが、どのような取り組みにより地域力を醸成していくのか。</p> <p>また「地域運営組織」における課題解決の取り組みを支援しているが、どの部署によってどのような支援策を展開していくのか。</p> <p>さらに地域における健康づくり、地域交流、スポーツ、文化活動を取り入れた「地域福祉」の充実を図っているが、具体的な取り組みについて伺う。</p>	町長
	<p>○食と農について</p> <p>前熊谷町長の方針を引き継ぎ、農業を基幹産業と位置付け、農地の大規模化を進め、「稼げる農業」の実現を目指すとしているが、町内の耕作地にあっては、農地の大規模化が困難である地区もある。地域間の条件差をどのように捉えているのか。</p> <p>また、多様な主体と連携を図り「フルーツの里」として歴史と魅力の継承、発展を進めるとしているが、りんご、ぶどう、梨、桃、プラム等の多様な品目を踏まえ、どのような経営戦略と体制で取り組み、事業継承と発展を進めていくのか。</p> <p>さらに、若者、移住者、新規就農者を育成・支援する「食と農の育成学校」について、組織体制や運営方法の具体的構想は、どのように描いていくのか。岩手中央農業組合や県の農業改良普及センター等の関係団体との連携は考えているのか。</p> <p>加えて、鳥獣被害対策については、地域ぐるみで防止に取り組む体制の強化を挙げているが、地域によっては高齢化・人口減少が進む中で、どのように進めていくのか伺う。</p>	町長
	<p>○なりわい、暮らしについて</p> <p>地域産業の担い手確保、企業誘致による雇用の場の創出、起業・副業・地域ビジネスなどの多様な働き方を支援しているが、このことは産業振興に必要なことである。これらの具体的方策についてどのように取り組んでいくのか伺う。</p>	町長

質問議員	質問の内容	答弁を 求める者
	<p><b>○インフラ、防災について</b></p> <p>全国各地で自然災害が頻発するなか、消防団、自主防災組織による地域防災組織との連携を深めることにより、地域全体の防災力向上を図ることは、安心して暮らせる町づくりのために必要不可欠であるが、そのための自主防災組織への支援強化と防災訓練の実効性向上策はどのように考えているのか。</p> <p>また、高齢者、要配慮者支援体制の具体的整備状況はどのように進めていくのか。町民のいのちを守る体制強化について伺う。</p>	町長
	<p><b>○健全な財政運営について</b></p> <p>町政運営の基本とする「人を大事にする」「場を大事にする」「学びを大事にする」について、各項目の具体的方針とその進捗についてどのように管理し、成果・評価を検証していくのか。</p> <p>また、学び直しであるリカレント教育、新しいスキルや知識を習得するリスクリングを取り入れることも重要と思われるが、在り方や取り組みについてどのように捉えているのか伺う。</p> <p>さらに、町の将来像を実現するためには健全財政が基盤である。持続可能な財政運営のためには、様々な角度での検証が必要であることから、中長期財政計画の透明化と町民へのわかりやすい公表について、見解を伺う。</p> <p>あわせて、事業の選択と優先順位はどのような基準で決めていくのか、考え方について伺う。</p>	町長
	<p><b>○子ども、子育てについて</b></p> <p>次世代を担う子どもたちの「生きる力」を育むと述べられたが、どのような定義に基づき、その評価・検証はどのように進めていくのか具体的な方策について伺う。</p> <p>また、児童施設の充実については、整備の基本方針及び配置、将来における児童育成拠点施設の必要性をどのように認識され、子育て環境の地域間格差が生じないための対応をどのように考え進めていくのか所感を伺う。</p>	町長
	<p><b>○対話と合意形成について</b></p> <p>「希望の町紫波」を実践するため、対話を重ね町民の持つ「地域力」を原動力として、共に町を創り上げていくとしているが、町民との対話をどのように進め、その中での意見・要望を政策形成、意思決定にどのような形で取り入れ、反映させていくのか、対話の結果について可視化はされるのか対応について伺う。</p> <p>また、ロジックモデルを活用した施策評価が町民ニーズと乖離していないか等の検証は、どのように取り組んでいくのか伺う。</p>	町長

質問議員	質問の内容	答弁を 求める者
<p>[3]</p> <p>日本共産党 紫波町議団 細川 恵一</p>	<p><b>○町政への具体化と新たな挑戦について</b></p> <p>町長は、所信表明において、困難や変化を恐れるのではなく、自らの意思と行動によって未来への道を切り拓くことが求められていると述べ、新たな挑戦に果敢に踏み出し、町政が実り多い飛躍の年となるよう全力を尽くすと表明した。以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 町長が想定する困難や変化とは具体的に何と捉えるか。</li> <li>2 未来への道を切り拓くことでは、いま、物価高騰や人口減少、財政問題など本町を取り巻く環境は厳しさを増しているものと捉える。新たな挑戦でどのような分野を重点に町政をすすめるのか、町長の町政への決意を伺う。</li> </ol>	町長
	<p><b>○食と農について</b></p> <p>基幹産業である農業について、国や県の動向を的確に捉え農地の大規模化を進め、「稼げる農業」の実現を目指すと述べられた。その一方で、兼業農家や「農ある暮らし」といった多様な農業の在り方にも光を当てるなど、次世代へ農業の大切さを伝えていくと述べられている。これらの取り組みを着実に進めるため、若者、移住者、新規就農者を育成・支援する「食と農の育成学校」設立に向けた準備を進めるとのことである。以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「稼げる農業」とは、具体的にどのような水準を指すのか。また、農地の大規模化と多様な農業の両立をどのように捉えているのか。</li> <li>2 「食と農の育成学校」は現段階での具体像はどのようになっているか。位置づけとして研修機関か教育機関なのか。また実践的な農場などを伴うものか。</li> </ol>	町長
	<p><b>○高齢者施策について</b></p> <p>介護予防や生活支援の充実を図り、医療と介護の連携を強化し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域包括ケアシステムの構築に取り組むと述べた。</p> <p>現在、矢巾町と共同で設置した紫波郡地域包括ケア推進支援センターがあり、両町にはそれぞれ地域包括支援センターが開設され、高齢者や家族の相談、支援の窓口として機能している。地域包括ケアシステムの構築は、紫波町独自のモデルを構築するものなのか具体的に伺う。</p>	町長